

The Cronos System

暦象データベースによる編集航行型研究教育システム

The Cronos Systemは『情報の歴史』(監修=松岡正剛、構成=編集工学研究所)を基本データベースとして、ユーザの持つ古今東西の歴史事象を加え、6種類の検索と3つのビューを駆使しながら「関係の発見」「創発的視点の獲得」「発想の転換」をおこすシステムである。

関係の発見
発想の転換
創発的視点

の獲得



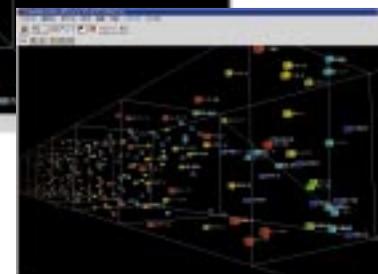
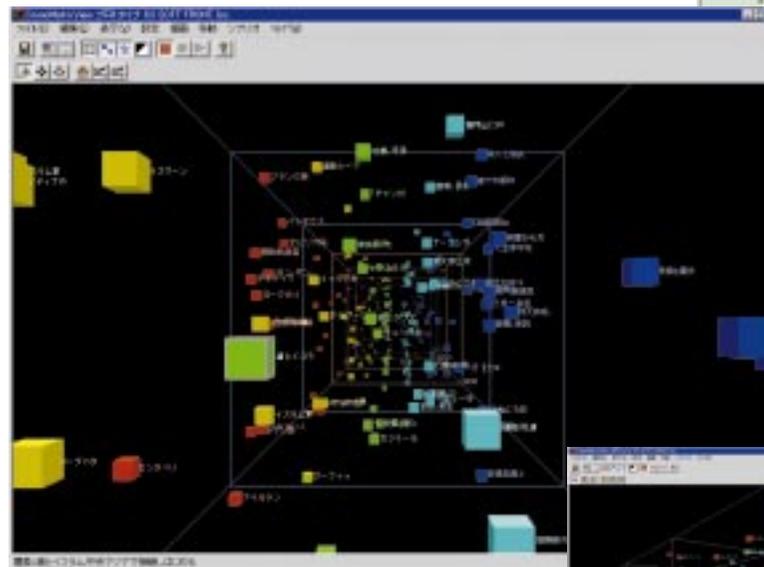
3つのビュー

▲情歴ビュー

『情報の歴史』の誌面の構造をそのままデジタル化

◀クロノマトリクスビュー

暦象データを3次元空間に表示する。Z軸は時間、XY軸は東西南北など設定をかえ、空間内を航行することができる



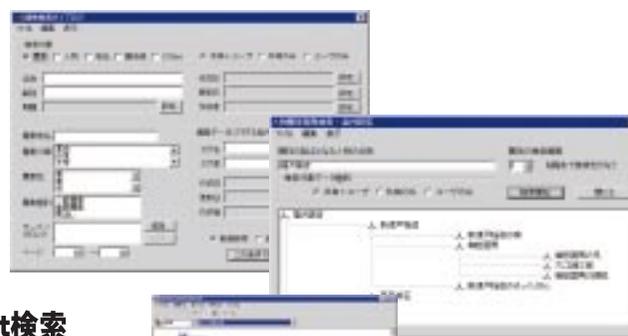
基本データベース

ユーザデータベース

6種類の検索

- 通常検索
- 全文検索
- 関連CronoObject検索
- 関係線パターン検索
- 人物関係発見検索
- 意味空間検索

基本的な情報単位である暦象データは、情報文化という観点から厳選され、8段階に重みづけをされた『情報の歴史』の約5万件の歴史文化的事象を基本スケールとする。



▶カード型ビュー

情報単位となる暦象データの解説と属性を表示

